



sinrei 榛 黎

群馬県立農林大学校

〒370-3105

群馬県高崎市箕郷町西明屋 1005

TEL: 027-371-3244

FAX: 027-371-6968

http://www.gunma-iaf.ac.jp



「いざ出陣！」箕輪城祭へ



「おめでとう！」課題研究発表会



「思いはひとつ！」四県親善スポーツ大会～野球～



マイナス体験を大切にしよう

校長 尾藤 篤

学生さんはどなたも、マイナス体験をされたことがあるでしょう。思わぬ事故や病気で人に遅れをとったとか、経済的に大変だったとか、おとなしかったり内気で損をしたとか、失恋したとか、いじめられたなど、誰にでも辛いことがあったはず。辛い時は時間がとても長く感じ、楽しい時は逆に短く感じます。マイナス体験の最中では、永遠に辛い状況が続くのではないかと、物事が客観的に見えなくなり、自分の殻に閉じこもりがちです。

でも、悲観しないでください。長い人生の中では、運に恵まれない時と、幸運な時があり、この不運と幸運は、人によって来る時期が異なります。また、不運と幸運は循環してやってきます。ですから、マイナス体験の最中であっても、決して絶望することはありません。

年齢を重ねるに従って、マイナス体験をやり過ぎし、幸運な時を迎えるのがうまくなってきました。うまくなるというのは、時の経過を味方につけられるということです。辛い時は一人で悩まず、人と話したり、外に出て体を動かしたり、自然と接したりしてみてください。やがて、時が巡り、あなたが成長したり、環境が変わったりして、辛いことが徐々に解消されるでしょう。

社会に出ると様々なマイナス体験が生じます。でも、大丈夫。時の経過を味方につける工夫をしていけば、きっと心穏やかな時が来て、マイナス体験がかえって、あなたの心を広く深く鍛え上げ、成長させてくれたことを自覚するでしょう。



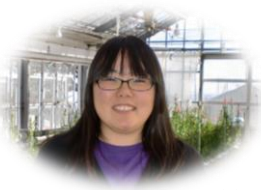
私の進む道

野菜コース
茂木 寛和

私の家は農家で、私は農林大を卒業後、実家に就農します。農家を継ぐうと思ったのは、

家族が今まで続けてきたものを自分の代で終わらせたくないと思ったからでした。

農林大では二年という短い期間でしたが、トラクターや簿記等の資格取得や日々の栽培実習で、就農するための最低限の知識は得られたと思います。卒業後は両親に学び、独立しても生計を立てていくような立派な農家を目指していきます。



花き・果樹コース
富澤 樹理
私は、高校を卒業してすぐに本校に入学したのではなく、

働いたことでした。そして農業を一生の仕事にしたいと思い農林大学校に入学しました。

無事四月からバラ農園に就職が決まりました。農林大で学んだこと以上に多くのことを学び、知識や経験を身に付け、お客様に喜びと感動を与えられるようなバラを育てたいと思っています。二年間はあっという間です。悔いのないよう日々を過ごして下さい。



酪農肉牛コース
宇佐美 綾香
私の家は非農家ですが、高校時代に牛に興味を持ちこの農林大学校へ入校しました。

あっという間に過ぎた二年間。最高の仲間に出会え、酪農を志すための基礎を学ぶことが出来ました。卒業後は北海道の牧場で酪農に従事します。授業や実習で学んだことを活かし、就職先の牧場に貢献できる人材になれるよう、日々努力したいと思います。

社会人コース
井田 憲治

農林大学校に入校し、この一年間で農家での体験学習や農業技術



センター等への視察研修など貴重な経験をし、じつくと農業の勉強ができました。

当初は、環境の変化に不安もありましたが「頑張らないけど、あきらめない」と心に誓い、一年間過ごすことができました。

卒業後は、農林大学校で得た知識や体験を活かして露地ナスの栽培に力を入れ、環境に優しい農法を取り入れつつ、事業の拡充を図っていかうと思っています。



農業コース
岡部 祥広
非農家生まれの私ですが、将来は農業関係の仕事に就きたいと考え、

農林大学校に進路を決めました。私は元よりJAに興味があり、二年の春から地元のJAの直売所と営農センターで研修し、無事に内定をもらうことが出来ました。JAは農業分野だけでなく、幅広く業務があり、様々な仕事を学ぶことが出来ると思います。

これから社会人になる身として不安はありますが、地域に貢献できるよう精一杯努力していきたいと思っています。



農業コース
加部 涼太

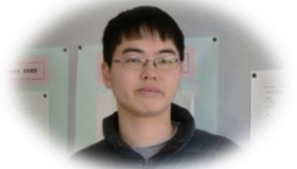
私は普通高校出身ですが、農業に興味を持っていたため農林大学校に

入学しました。農林大で学ぶ中でさらに専門的なことを学びたいと思い、新潟大学への三次編入を決めました。私は新潟大学の前に二校編入試験を受けましたが不合格で、ようやく合格することができました。その中でわかったことは自分の志を持ち、それを全力で伝えることがいかに大切かということでした。

私はこれからも一層勉強していきます。皆さんも志をもって頑張ってください。

森林・環境コース
小暮 溪太

私が林野庁に就職したいと考えた理由は、林業について広い視野を持ち、多くのことを学びながら



仕事をしたいと考えたからです。自分が合格できたのは自分がここで働きたいという気持ちを持ちながら試験に臨んだからだと思います。仕事に就いてからは学生の時以上に学んで努力し、森林の保全などの分野に貢献していきたいです。

森林・環境コース

宮田 将志



私は農業高校出身で農林大に入るまでは林業について全く知りませんでした。しかし、

農林大に入り林業について勉強していくうちに山を守る仕事に就きたいと考えるようになりました。春からわたらせ森林組合に入り技術員として働き始めます。就職するために事前に面接練習をしたおかげで緊張せずに試験に臨むことが出来ました。これからは、渡良瀬の山々を守り、新社会人として恥じない人生を送っていききたいです。

四県親善スポーツ大会in長野

十月二十一日に埼玉・長野・新潟・群馬の四県農業大学校親善スポーツ大会が長野県を舞台に開催されました。

連覇を目指したバスケットボールは、初戦は堅さが残ったものの決勝は余裕の試合運びで、優勝！前回準優勝の野球は、ピッチャーの好投と得点好機を逃さない攻撃により、念願の優勝を果たしました。打倒新潟に燃えたバレーボールでしたが、決勝で破れ準優勝でした。卓球は、群馬・埼玉・長野が一勝二敗で並びましたが、ゲームカウント数で三位。バドミントンは、勝利するペアもありましたが惜しくも敗退、来年度に向けリベンジを固く誓い、結束を固めました。学生の活躍が光る素晴らしい大会になりました。

次回、新潟県での更なる活躍を期待します。

【本校の結果】

- バスケット 優勝
- 軟式野球 優勝
- バレーボール 準優勝
- 卓球 三位
- バドミントン 四位



第三十三回様の木祭開催

「すべてのことに感謝を」とのcrossをテーマに、十一月七日(土)・八日(日)の二日間開催されました。初日は好天に恵まれ、多くの来場者で賑わいました。学生

が栽培した野菜や花などの農林産物販売、豚汁やきのこうどん・焼きそばなどの模擬店、寄せ植え体験や収穫体験、餅つきなどのイベントを行いました。また、展示コーナーでは各コースのカリキュラムや課題研究を紹介し、農林大の魅力を紹介しました。体育館ステイジで行われた男装女装コンテストでは来場者と一緒に学生も大いに盛り上がりました。二日目は、あいにくの雨でしたが、それでもたくさんの方に会場いただきました。これからも魅力的な学園祭を目指していきますので是非ご参加ください。



課題研究の成果を発表!

【校内課題研究発表会】平成二十七年十一月二十五～二十六日に開催され、二年生全員が課題研究の成果を発表し、一年生の各コース代表が意見発表を行いました。

【代表課題研究発表会】

十二月十日に箕郷文化会館にて校内発表会で選ばれた課題研究発表七名、意見発表二名により成果発表を行いました。この発表会は関東ブロック実績発表会の選考を兼ね、課題研究は最優秀賞に秋山礼伊さん(野菜)、優秀賞に砥上拓弥さん(酪農肉牛)、優良賞に遠藤舞花さん(森林・環境)、意見発表は最優秀賞に伊藤靖浩さん(野菜)が選ばれ、本校代表に決定しました。

【関東ブロック実績発表会・全国農業大学校プロジェクト発表会】

平成二十八年一月二十一～二十二日に関東ブロック発表会が静岡県で開催され、砥上拓弥さん(酪農肉牛)が三位に入賞し、二月二十一～二十三日に東京で開催された全国発表会では特別賞「日本農業新聞賞」に輝きました。

「ぐんま農業実践学校」の取り組み

農林大学校では、就農を志す県民を対象に、「ぐんま農業実践学校」を開校しています。野菜・花き・果樹の栽培技術や経営管理について、四課程八コースのクラスで研修を行っています。



毎年、定員を超える応募がある人気の学校で、今年度は二十代から七十代までの幅広い年代層の方が、新たな農業の担い手を目指して学びました。日々の実習では、研修生が協力して行う農作業が多くあるため連帯感が生まれ、かけがえのない仲間づくりにつながっています。

修了後、研修生は県内各地で就農し、高齢化や担い手不足などに直面する本県農業の活性化に向けて、地域農業の担い手としての活躍が期待されています。

☆農業女子☆機械を学ぶ

県内では昨今、農業経営者としての女性の活躍が著しく、自ら農業機械に接する機会が増えていま

す。そこで二月九〜十日に女性が農業機械を安全に利用するための「女性農業者農業機械研修」を、農林大を会場に開催しました。

参加者はこれまであまり機械に触れてこなかった女性がほとんどで、トラクターや管理機を使った畑の耕耘やうね立て作業などを行い、どこに危険が潜んでいるかを体感しました。トラクターとふたん運転している乗用車との違いを確認したり、草刈機のエンジンのかけ方のコツを熱心に質問する農業女子達が、会場のおちらこちらで見られました。

研修終了時には、農業機械の安全に対する意識と、絶対に事故を起こしてはならないとの思いを持って農作業にあたることを参加者全員で確認し合いました。

農林大学校では、今後も農作業安全を推進していきま



部活動紹介 野球部

野球部は部員十六名、マネージャー四名で、四県親善スポーツ大会での優勝を目標に週二回の放課後練習の他、昼休みにキャッチボールや投球練習をしてきました。四県親善スポーツ大会では一回戦は新潟に勝利、決勝戦は昨年と同じ長野との対戦となりました。序盤で二点リードしましたが、その後同点とされた最終回、二死三塁の場面での劇的なサヨナラ勝ちで優勝することができました。



四県親善スポーツ大会にて

H28自治会役員紹介

私たちは、笑いの絶えない明るい学校生活を送れるよう「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに力を合わせて頑張ります。ご協力をお願いします！



- 前列右から
 - 副会長 須永 要(酪肉)
 - 会長 野口 直(野菜)
 - 副会長 高松 雄大(森林)
- 後列右から
 - 書記 小林 友幸(野菜)
 - 書記 芝崎 春花(農業)
 - 書記 茂木 光希(花果)
 - 会計 安原 茉奈美(農業)

『第二十六回ヤンマー学生懸賞論文・作文』で入賞！

『第二十六回ヤンマー学生懸賞論文・作文』の表彰式が一月二十九日に東京で開催され、全国七百九十編の応募の中から農業コース一年の二名が入賞しました。

金賞 石井成美『地域農業の魅力が未来へ』『食文化という自分の興味のあることを発信して認められたので、もっと踏み込んで勉強してもよいという自信になった。』



柴崎さん 石井さん